

日本におけるデジタル化の状況

G585102025 池森 皇哉

2025 年 7 月 7 日

1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力のランキングは図 1 が示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、知識分野で 25 位となっている

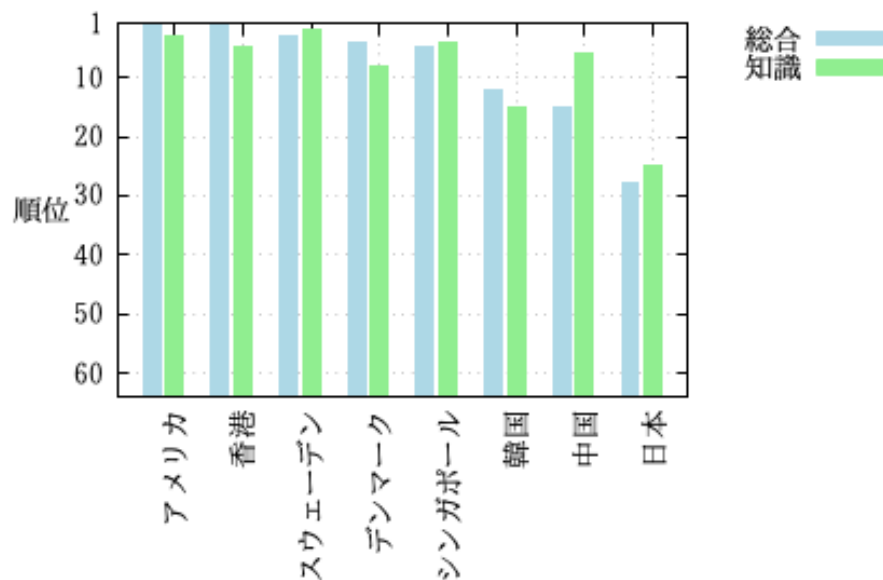


図 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

2 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及いかんする調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人あたりの光ファイバー回線の加入者数は 29.0 で、韓国、スウェーデン、ノルウェーの続いて第 4 位になっている。

表 1: 光ファイバー回線の加入者人数（100 人あたり）

順位	国名	加入者数
1 位	韓国	38.2
2 位	スウェーデン	31.9
3 位	ノルウェー	29.5
4 位	日本	29
5 位	アイスランド	28.8
6 位	スペイン	27.3
7 位	ポルトガル	25.1
8 位	ニュージーランド	23.6
9 位	リトアニア	22.3
10 位	フランス	1.2

3 考察

- 日本のデジタル競争力は低い. 国際経営開発研究所（IMD）のランキングでは、日本は総合順位・知識順位ともに下位（64 カ国中で 50 位前後）に位置しており、他の先進国と比べてかなり低いことがわかる。
- ブロードバンド普及率は比較的高い. OECD のデータによると、日本の光ファイバー回線の加入者数は 100 人あたり 29.0 人で 4 位となっており、通信インフラ自体は整っている。
- インフラ整備と活用度のギャップ. ブロードバンド環境が整っている一方で、デジタル競争力の低さが目立つことから、単にインフラがあるだけではデジタル化は進まないことが示唆される。

参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.